

売上げ前年比20～50%減少の企業にも10万円の「事業者応援給付金」

臨時議会(7/29)で新型コロナ対策を強化

市は7月29日に臨時議会を招集し、新型コロナウイルス感染対策の新たな補正予算を提案しました。補正予算はすべて議決され、支援の取組が一定強化されることになりました。補正予算の内容は下記の通りです。

なお、今回の補正予算で必要な支援がすべて網羅されているわけではありません。日本共産党議員団は、市民のみなさんの声を元に、引き続き支援の取組を強めるよう求めています。

<総務費：1,345万円>

- ・トキ鉄、北越急行の鉄道車両や駅舎、市内運行の路線バスとタクシーへの感染防止対策のための衛生設備や物品の購入経費の一部を補助
- ・市役所木田庁舎に設置の「新型コロナウイルス感染症総合相談窓口」運営経費増額

<民生費：405万円>

- ・病児保育室がサービス提供体制を維持できるように事業運営委託料を増額

<衛生費：5,232万円>

- ・私立保育園及び認定こども園のマスクや消毒液、備品等の感染防止物品の購入などへの補助金を増額
- ・小・中学校に配備する感染防止物品の購入経費を増額
- ・休日・夜間診療所、安塚診療所など市の診療所の感染防止物品の配備や設備の整備経費を増額

<農林水産業費：400万円>

- ・上越産品に特化したインターネットショッピングモールを活用した販売拡大を支援

<商工費：13億3,734万円>

- ・事業者応援給付金、県セーフティネット資金の信用保証協会保証料補助金、利子補給補助金について、今後の申請を見込んで増額
- ・事業者応援給付金の給付対象を、売上げ前年比20～50%減少業者に拡大
- ・感染症対策のための店舗等改装促進事業補助金の申請受付期間を延長
- ・事業継続に向けた新たな取組や販路開拓、新商品・新サービスの開発等を支援する「上越市中小企業者チャレンジ応援事業補助金」を創設

- ・上越商工会議所、各区商工会に運営支援の臨時給付金

<教育費：1,446万円>

- ・夏休み短縮による教育補助員、介護員、LD指導員、生徒指導支援員の配置経費を増額

平良木議員が総括質疑

臨時議会では、市長からの提案説明の後、日本共産党議員団を代表して平良木議員が総括質疑(提案の内容に関する質問)を行い、「今回の補正予算の編成にあたっての基本方針」や、「病児保育室の委託料増額の基本的な考え方」「事業者応援給付金の対象拡大の効果の見通しと金額の根拠」などを質しました。

市長は、「国や県による施策に加えて、その狭間を支援する市独自の取組を講じて市内経済と市民生活の下支えに取り組んでいる」「病児保育室は、安定的に事業運営ができる対応策のため、国の取り扱いに基づいて昨年の実績で委託料を算定した」「事業者応援では他の政策とのバランスを考えて金額を設定した。資金繰りの改善には至らずとも、事業継続に資するものにしたい」と答えました。



死亡原因の徹底究明が必要

上越市立水族博物館うみがたりのシロイルカ2頭が相次いで死亡したことを受け、市議会文教経済常任委員会(上野公悦委員長)の委員協議会が、7月20日行われ、詳しい事情が説明されました。まず、開館から2年足らずでバンドウイルカ2頭を含む4頭のイルカが死亡した際の状況と、シロイルカの死亡原因を調査中であることが説明されました。この中では、バンドウイルカ2頭が死亡した際、飼育に関する客観的調査がされていないことが明らかになりました。

こうしたことを受けて各委員からは、「死亡原因の究明を徹底的に行うべきだ」「プールの広さは十分なのか」「飼育上の問題はなかったのか」「イルカショーは今後も継続するのか」「前回の死亡の件も再検証すべきではないか」などの指摘が相次ぎました。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.668 2020年8月2日

連 橋爪 法一 090-5392-1961(吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407(頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919(上中田(金谷区))